

第 106 回番組審議会議事録

(株)中国コミュニケーションネットワーク

FM ちゅーピー 76.6 MHz

- 開催日 令和4年4月14日(木) 午前11時
- 開催場所 中国経済クラブ(中国新聞社8階)

委員(総数7人)

- 委員 中川 元慧(浄土真宗本願寺派善正寺住職)
- 委員 木谷 健(比治山学園理事長)
- 委員 中山 正剛(広島大学スポーツセンター特任教授)
- 委員 中川 圭(乳がん患者友の会きらら理事長)
- 委員 吉田 朋子(和奏光夜実行委員会代表)
- 委員 向井 良(弁護士)
- 委員 片山 学(中国新聞社文化担当部長)

会社側出席

- | | |
|---------|--------|
| 社長兼放送局長 | 小見山 文男 |
| 制作担当 | 渡邊 康美 |
| 営業担当 | 久保田 正明 |

■ 議題

- ・ 開会挨拶
- ・ 番組試聴「広響サタデーシンフォニー」
- ・ 番組の意見、感想
- ・ 訂正や苦情の報告と前回以降の業務報告

◆ 番組試聴「広響サタデーシンフォニー」（3月19日放送分）

1月8日土曜日から毎週土曜日18:00～18:30までの30分番組「広響サタデーシンフォニー」をスタートしました。ナビゲーターは上田みどりさんが務め、ゲストに広島交響楽団員を迎えて放送しています。3月19日のゲストはトランペット奏者の金井晶子さんです。

＜番組に対する委員の意見・感想＞

- ・ 音楽番組でも音楽を流すだけでなく、楽団員からオーディションなどの裏話が聞け、将来、演奏者を目指す人に喜ばれているのではないかと。広島県外の出身者が入団して広島に住み、平和に関する気持ちが芽生えた話なども聞け、団員に親しみがわいた。
- ・ スポーツはどれだけミスをなくすかという事に精度を上げていくが、オーケストラこそミスが許されない世界。完璧な演奏を目指し、ひとり一人が乗り越えてきた過程などが聞け、生演奏を聴く素晴らしさが分かった。
- ・ 入団テスト時に最高のパフォーマンスをするための心の在り方、常に聴く人の心に寄り添う事を大切にしている姿勢など、ゲスト出演者の内面的な思いがよく分かる。
- ・ スポーツの選手になるより楽団員になる方が難しいのではないかと。広島市は国際平和都市と言いながらシンフォニーホールがない。広島音楽高等学校が廃校になるなど音楽の文化の喪失に懸念しているが、この広響楽団員が出る番組は長年続けられるように頑張ってもらいたい。
- ・ あまり広島交響楽団と接点が無かったが、放送を聞いて団員の思いがよく分かった。小・中学校の吹奏楽部の部員に聞いてほしい番組だ。ナビゲーターも穏やかな口調で子どもが聞いても分かりやすいのではないかと。
- ・ 広島交響楽団のコンサートに行くことはあまり無いが、楽団員のひとり一人にスポットを当て、いろいろなエピソードを聞くと楽団員個人に興味がわく。機会があれば、学校の吹奏楽部の部員もゲストに迎え、楽団員と対談したら面白いのではないかと。この先が楽しみな番組だ。
- ・ 広島にゆかりがなくても広島交響楽団で活躍されていることに驚いた。個人のエピソードも面白いが、もう少し音楽、曲についても詳しく聞いてみたい。

◆ 訂正や苦情の報告と前回以降の業務報告

- ・ 番組での訂正やリスナーからの番組に関する苦情についてはありませんでした。
- ・ 4月1日（金）から、ケーブルTVのちゅピCOMとの連動番組「ちゅピCOM まちかどスタジオ」の放送を開始。放送は平日15:00～15:25です。

以上